

第1.1節 川崎市点描

2021年00月 番外特別号

2018年から毎月母校ホームページで発信してきました川崎支部便りをまとめるにあたり、通常の支部便りでは扱い得なかった情報も必要であろうと、本節では川崎市に下宿されていた卒業生にも読んで頂けるように川崎市に関する簡単な説明を行います。

1.1.1 川崎市の位置

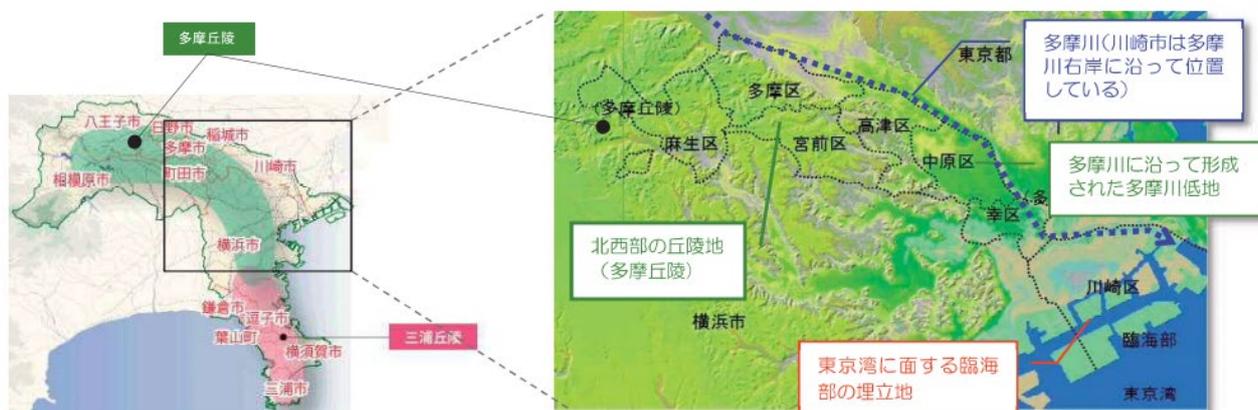
川崎市は神奈川県北東部に位置し、おおむね多摩川の南側に細長く広がる面積144.351 km²、東西約31km、南北約19kmで、北西部の一部丘陵地を除いて起伏が少ない比較的平坦な地域で、人口は約154万人(2021年)の都市です。

多摩川の北側は東京都で、東京都世田谷区多摩堤には母校世田谷キャンパスがあり、等々力には等々力キャンパスと総合研究所があります。川崎市麻生区には母校の原子力研究所があり、随時施設の見学ができます。川崎市の南の横浜市都筑区には母校横浜キャンパスがあります。横浜市の西側には相模原市があり、この3つの市はいずれも政令指定都市です。一つの県に3つの政令指定都市を抱えるのは神奈川県だけです。

川崎市の南東部から高津区あたりまでが昔の海岸線で、高津区橘地区には貝塚があります。縄文時代～中近世にかけての住居跡が80軒以上発見されて新作小高台遺跡(高津区新作1-9-1)に整備され、弥生時代中期の竪穴建物3軒発掘され梶ヶ谷神明社上遺跡(高津区梶ヶ谷4丁目)となっています。ともに、土器・石器・鉄器・玉類等が発掘されています。また馬絹古墳(宮前区馬絹994-10)、西福寺古墳(高津区梶ヶ谷)、野川1号墳(宮前区野川)、子母口富士見台古墳(高津区子母口54-173)などがあります。

この様に、古代の人々にとって生活物資を入手しやすく、住みやすい環境であった地域で、古墳造営が可能な権力者も出るような所だったと思います。また武蔵の国の本庁は東京の府中でしたが、橘樹官衙遺跡は、古代武蔵国の21郡の内の1郡を納めた役所の遺跡です。また市の北西部の丘陵地は八王子から三浦半島まで続く多摩・三浦丘陵の一部になっています。

川崎市の位置的な特徴として、市内全域が中世の武蔵の国に属していること。したがって神奈川県を意味する相模の国には含まれていないことです。



(出典) 多摩・三浦丘陵トレイル(多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議資料に加筆)

1.1.2 川崎市のイメージ

この土地は戦国時代には合戦の舞台にもならない、内陸部の農業、沿岸部の漁業の田舎でした。現在の市域が完成したのは1939年（昭和14年）です。工業都市への変貌を遂げた端緒は、浅野財閥を築いた浅野総一郎（1848年～1930年）で、財政難の川崎市に代わり川崎沿岸部の埋め立て事業で一大工業地域に発展させました（浅野セメントは、「南武線」の章に出てきます）。

負の面では工業化と人口急増による「川崎公害」、大気汚染、水質汚濁等の公害は1970年初頭にはピークを迎えました。「恐ろしくて汚い街」のイメージがありましたが今は違います。工業都市でありながら、新百合ヶ丘、宮前平、武蔵小杉のタワーマンションに象徴される宅地開発でイメージを一新しました。多摩川も生活排水で汚れ、魚の奇形が報道されるなどで清流のイメージとは程遠い状態でしたが、市民活動や下水道の整備が進んだことと多摩川が日本有数の急流であることなどから徐々に改善されています。

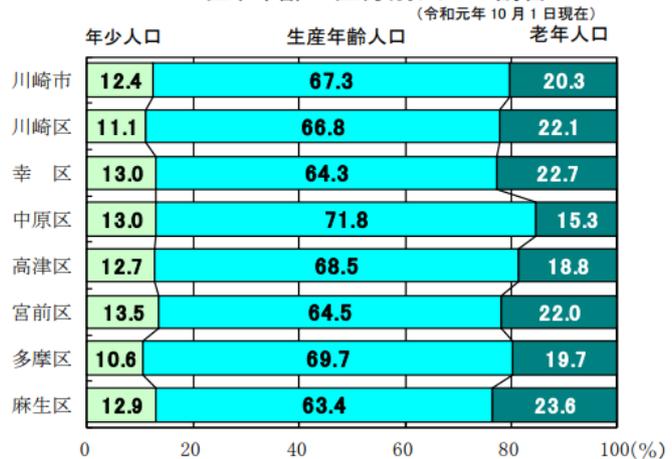
1.1.3 発展する川崎市

川崎市は1972年（昭和47年）に5区を有する政令指定都市となりました。この年には札幌オリンピックが開催され、沖縄が返還されました。1982年（昭和57年）に市北部の2つの区がそれぞれ分割され、現在の7区体制になりました。

川崎市の人口は、1955年（昭和30年）には約40万人、1965年（昭和40年）には約85万人と10年間で2倍以上、政令指定都市の翌年1973年（昭和48年）には100万人を突破しました。2021年9月1日時点で、

755,102世帯、1,541,688人です。川崎市全体と各区別の人口構成図を示しました。中原区の高齢人口が少なく、多摩区で年少人口が少なくなっています。川崎市の人口急増の要因は、東京や横浜などへの通勤・通学の利便性、川崎市が進めてきた新旧の共生で、立地の良さと東西の交通網です。

区、年齢3区分別人口の割合



人生を豊かに（雑学のすすめ）

①川崎市の市章は「川崎」の「川」の字を表すだけでなく、市民の歴史とともに流れ続ける多摩川と、それと同じように発展する「川崎」を象徴しています（大正14年制定）。

②川崎市のブランドイメージは光の三原色をイメージしたロゴマーク。どんな「色」にもなれる多様性や自由をあらわし、市民一人ひとりの思いが多彩な「色」となり、川崎の未来への可能性を広げていく、そんな意味が込められています。（市制100周年に向けて、平成28年7月15日から使用開始）



第1.2節 校友会と川崎支部

(2021年00月 番外特別号)

東京都市大学校友会の地方支部である川崎支部は約1年の準備期間の後、2011年(平成23年)3月5日設立総会を実施しました。当時の武蔵工業会理事長の命を受けて、横浜支部から分離独立した形になります。

川崎支部で特筆すべきことは、当時の東横学園女子短期大学の同窓会も一緒に立ち上げた最初の地方支部であるということです。

川崎支部の活動詳細についての掲載は巻末に譲り、ここでは支部の規模を会員数で見るとしましょう。集計日は2010年7月です。

1.2.1 設立時の会員状況

川崎支部設立当時入手可能な名簿は武蔵工業会のデータのみでした。当時は年会費制を採用しており、会員は3年に1度3年分を納めることになっていました。また新卒業生は入会時に入会金と3年分の年会費を納めていました。この年会費は武蔵工業会の収入となり、川崎支部の活動の運営面とは直接関係ありませんでした。川崎支部の活動の運営面の基盤は会費ですが、武蔵工業会からの支給金で賄います。

右表には川崎市部のみの数値を示します。

1) 学科別会費納入状況

まず学科別の会費納入状況です。短期学部や大学院は学部の中に組み込んでいます。新しくできた学科や名称変更があった学科は合算せずにそのままの数字を乗せています。

表中で「納入済」はその年度の会費を納入した人数、「納入歴」は過去に納入した実績のある会員数、「未納」は全く実績がない会員数です。

会員数が200名以上の学科は昔からの工学部6学科で、未納率はそれぞれ

電気 16.7%、 建築 16.1%、 土木 16.7%、 機械 16.2%、 通信 14.1%、 経営 26.3%

となっていて、経営工学科が飛びぬけて悪くなっています。全体の未納率は 19.3%です。全体の納入率は 24.8%でした。

学科	納入済	納入歴	未納	合計
機械	64	220	55	339
機械システム	26	7	14	47
生産機械	4	8	0	12
電気	59	166	45	270
通信	50	145	32	227
建築	60	164	43	267
土木	39	131	34	204
都市	18	4	6	28
経営	24	169	69	262
システム情報	16	5	10	31
エネルギー	14	9	16	39
電子情報	3	10	11	24
コンピュータメディア	32	0	1	33
情報メディア	39	25	5	69
環境情報	46	50	44	140
合計	494	1113	385	1992

2) 行政区別納入状況

次表で「入会金」が出てきます。少し補足しますと終身会費制を採用していた年代もありましたが、

第1章 川崎支部の活動拠点

財政が厳しくなり年会費制に移行しました。そこで終身会費を払ってなお、ある時期から年会費を払うことになった会員も相当数居られました。こうした二重払いについてはさほど問題にはならなかったと記憶しています。

次表で「住所判明者」は集計時点での人数ですが、「入会金納入者」と「年会費納入者」は延べ数です。新入会して3年経過すると年会費納入の時期が来ます。したがってこの表で注意することは毎年これだけに人が入会金や年会費を払っているわけではないこと、またこの二つの数字の和が住所判明者とは一致しない事です

さて行政区別の状況では東京湾寄りの二つの区は他の5区に比べ会員数は半数以下であることが分かります。さらに入会金納入率や年会費納入率を調べると東京湾寄りの二つの地区は他の5区に比べて少ないことが分かります(2011年当時)。

	川崎区	幸区	中原区	高津区	多摩区	麻生区	宮前区	合計
住所判明者	155	145	342	329	305	344	372	1992
入会金納入者	119	115	278	273	247	282	296	1610
年会費納入者	29	27	102	79	76	85	96	494

1.2.2 現在の会員状況

次表は2021年11月現在のデータです。この表で「確認済み」は校友会オンラインでつながるメールアドレス保有者、「未確認」はメールアドレスが分かるが校友会オンラインに未だコンタクトがない人、「空欄」はメールアドレス記入欄に無記入の人のことです。また比率はいずれも合計総数3492人に対するものです。またこの表は総数の多い順に並べています。

「総数」は設立時の1.75倍ですが東京湾寄りの2つの区が少なくなっています。川崎支部では会員との連絡はメールアドレスを主にしていますが、全体の73.8%の会員にはメールが届いていません。また常時連絡がとれていそうな会員は僅か4.7%です。

表中最も大きな値の区のデータを黄色で、逆に最も小さな値の区を茶色で表示していますが、どの区の数値も傾向はほとんど変わりません。メールアドレス開示者を増やす取り組みや校友会機関誌の活用など、会員への他の連絡方法を模索する必要があります。

区別	総数		確認済み		未確認		空欄(名)	
	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)	(名)	(%)
宮前区	715	20.5	31	0.9	155	4.4	529	15.1
高津区	639	18.3	32	0.9	132	3.8	475	13.6
中原区	610	17.5	35	1.0	126	3.6	449	12.9
多摩区	477	13.7	20	0.6	95	2.7	362	10.4
麻生区	440	12.6	22	0.6	104	3.0	314	9.0
川崎区	313	9.0	13	0.4	66	1.9	234	6.7
幸区	298	8.5	11	0.3	72	2.1	215	6.2
合計	3,492	100.0	164	4.7	750	21.5	2,578	73.8

第1.3節 二子玉川周辺と夢キャンパス

(2018年03月 創刊号)

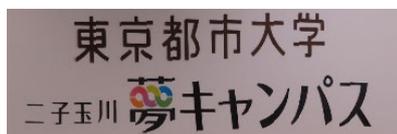
皆様お元気でしょうか川崎支部では「オープンで各自が主役：川崎支部」のスローガンのもと「川崎支部便り」を定期的に発信することになりました。お気軽にお付き合い願います。

なお今後川崎支部便りでは「母校」を東京都市大学、武蔵工業大学、東横女子短期大学を含めた呼び名としています。しかし特に3者を区別する必要がある場合には後ろにカッコ付きで示すか、直接記述する場合があります。

川崎市東西の中間地点近くで多摩川の東京側には、東京都市大学世田谷キャンパスがあります。母校から多摩川の上流に進むと田園都市線二子玉川駅が見えます。駅改札口を出て右に向かうと広場の両側にRISE（ライズ）のビルがあります。

多摩川寄りには写真出入口を示す事務所ビル RISE Office があります。ここが東京都市大学二子玉川夢キャンパスへの出入口ですそこまでは雨に濡れないでスムーズなアクセスが可能です。

広場をはさんで左のRISE Shopping Centerには多くの店舗が入っています。この二つのビルは2011年竣工で、地下1階／地上16階です。設計はアール・アイ・エー、施工は東急建設(株)です。



この事務所ビルの8階には「東京都市大学二子玉川夢キャンパス」(TEL 03-5797-9504)があり、フロントスペースには当時水素自動車が展示されて

ていました。

このキャンパスは学生が利用するだけでなく、多彩なイベントも開催されています。その一角には3次元プリンターが設置されていて学生たちが熱心に作品を作っていました。

川崎支部でも講演会を毎年4回ほど開催しています。講演会後の講師を囲んでの懇親会や臨時の役員会は溝の口で開催しています。



夢キャンパスの窓からは前方に右から左に流れる多摩川の流れ、右方向には二子玉川駅とその脇の旧国道246号線（大山街道）の通る二子橋があり、更に右奥（多摩川の上流）には新しい国道246号線の橋が見えます。江戸時代には大山信仰の参拝客が往来した街道で、多摩川の渡しもありました。二子玉川側から対岸へ渡った川崎側には二子宿・溝の口宿として大いに栄えた宿場町がありました。

閑話休題 今から約6,000年前の縄文時代前期の海岸線は、世田谷キャンパスから二子玉川寄りの第三京浜道路の橋付近迄でした。私の小学校の授業で、担当の先生が「溝は川をさし、口は川の水を受け入れる海なので、溝の口という名称になった。」との言葉が印象的でした。今でも思い出します。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

春といえば花見です。日本人は四季の自然を生活の中に上手に取り入れています。英語の nature は私たちの自然感とは少し違って、崇める対象ではなく征服する対象だったようです。とはいえワシントンでも桜祭りが行われるようになり、2007年4月の会では赤坂の芸者4名が話題をさらったようです。この4名の中に母校（注1）（武蔵工業大学）出身者が居りました。写真は2008年私的な会で踊ってもらった時の母校出身者です。



耳寄り情報

1. 2018.01.27（土）に校友会吉田会長、校友会小杉事務局長、湘南支部のご参加を得て青梅市の小澤酒造酒蔵ツアーを開催しました。元禄15年創業というから、今から316年前の1702年です。残雪が残る銘酒「澤ノ井」の蔵元です。出荷前の絞ったままの「亀口酒」や江戸時代の味がよみがえる「元禄」（木桶製法）等のマニア垂涎の利き酒が出来ました。

2. 日本酒お好きな方への耳寄り情報です。一都三県 蔵元との交流会が行われます。

【日 時】 2018年4月14日（土） 1部 13:00~15:00 / 2部 16:00~18:00

【会 場】 銀座フェニックスプラザ 中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館

【チケット】 2018年1月15日（日）より発売 前売り券購入方法：イープラス

前売り券：2,000円（1部、2部各300名限定）

当日券：2,300円（1部、2部各20名限定）

【プレゼント】 ミニきき猪口、清酒300ml

【主催・問い合わせ先】 東京都酒造組合連合会 TEL:042-524-3033

1954年（64年前）の川崎駅前広場（東口）

<https://www.city.kawasaki.jp/main/css/img/wrd.png>

